

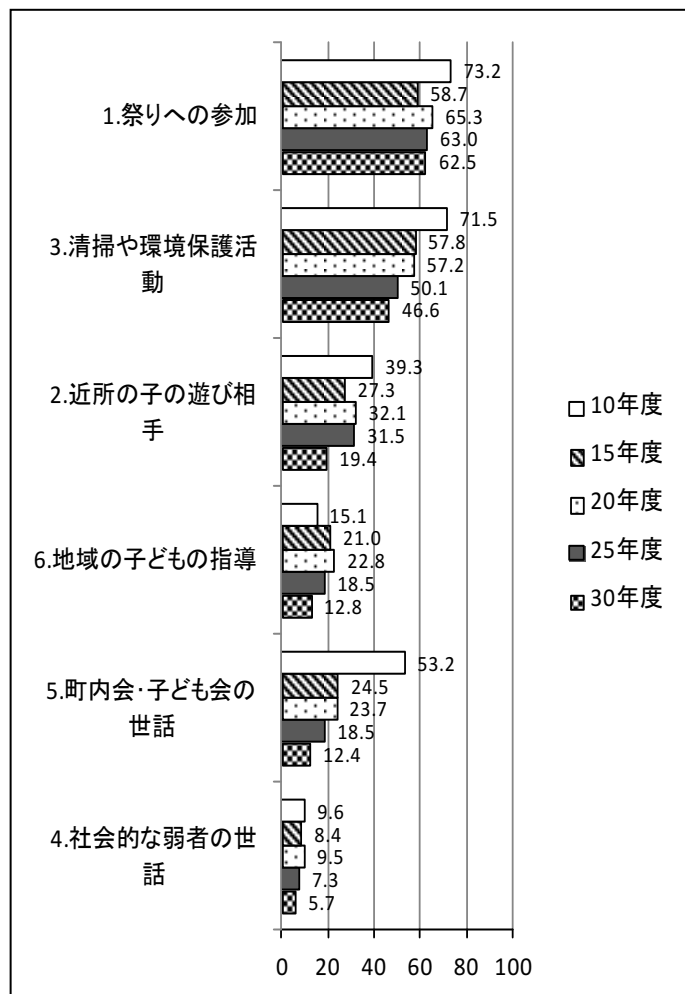
(3) 地域における活動と愛着

①地域との関わり

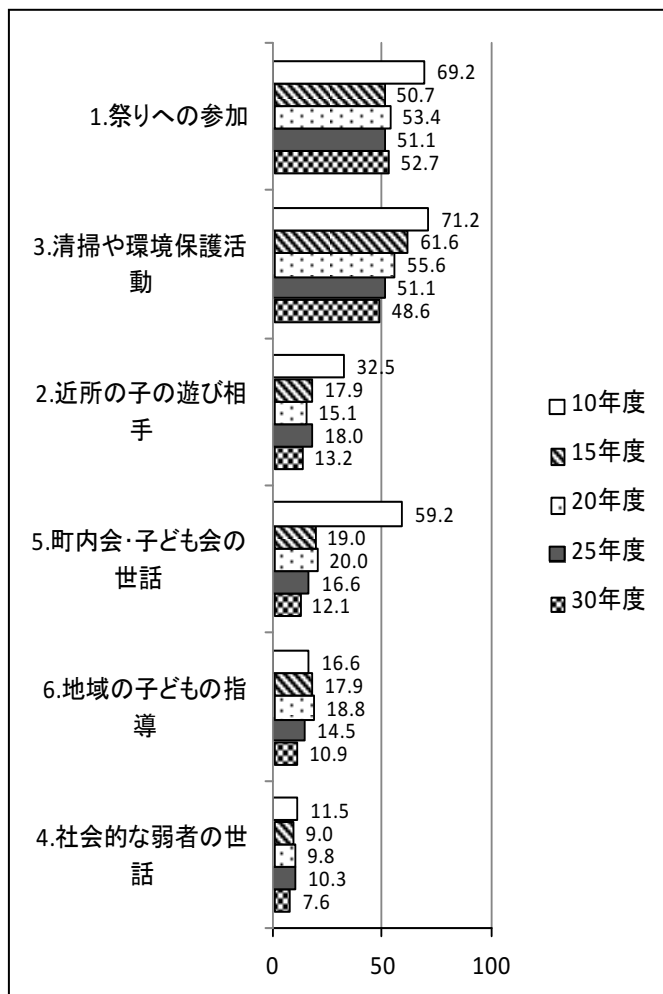
問7 あなたは、過去1年間の間に次のようなことをしたことがありますか。(いくつでも)

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 地域の祭りへの参加 | 4. 体の不自由な人やお年寄りの世話 |
| 2. 近所の子どもの遊び相手 | 5. 町内会や子ども会の世話 |
| 3. 地域の清掃や環境保護などの活動 | 6. 地域での子どもたちの指導や世話
(スポーツや〇△少年団などの世話) |

問7 過去1年間にしたこと(小学生保護者)



問7 過去1年間にしたこと(中学生保護者)



<平成30年度の結果>

小学生、中学生の保護者とも、上位3つは同じ項目である。「地域の清掃や環境保護などの活動」は中学生保護者の方が高い割合となっている。「祭りへの参加」や「近所の子の遊び相手」は、小学生の保護者の方が、高い割合となっている。

「社会的な弱者の世話」は、小学生、中学生の保護者ともに最も少ない。

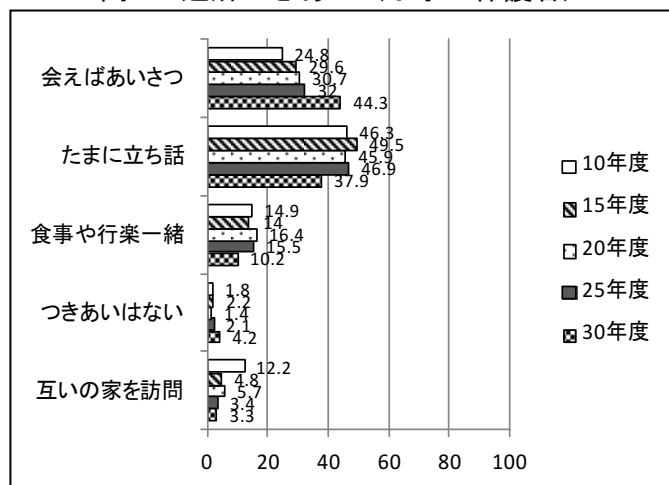
<平成10年度から30年度を通しての変化>

小学生、中学生の保護者とも「地域の清掃や環境保護などの活動」は年々減少している。(*)他の項目でも減少が見られる。

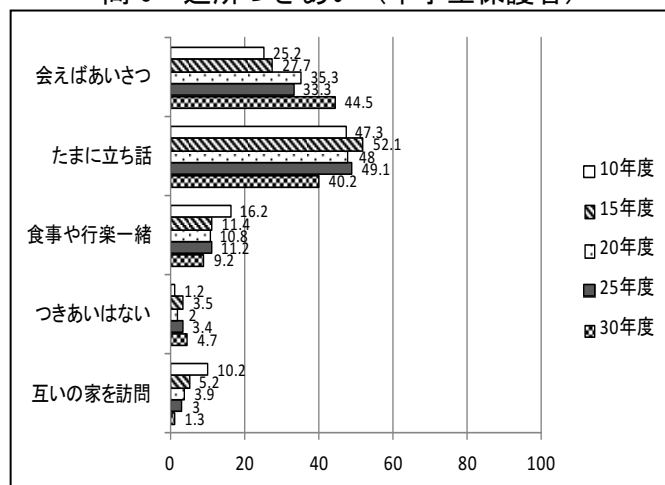
問6 あなたは、ふだんご近所の方とどのようなつきあいをしていますか。

1. 会えばあいさつする
2. たまに立ち話ぐらいはする
3. お互いの家を行き来する
4. 食事や行楽を共にしたり、困った時に助け合う
5. ほとんどつきあいはない

問6 近所づきあい（小学生保護者）



問6 近所づきあい（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

小学生、中学生の保護者ともに、「たまに立ち話ぐらいはする」「会えばあいさつする」を合わせると、8割を超えている。

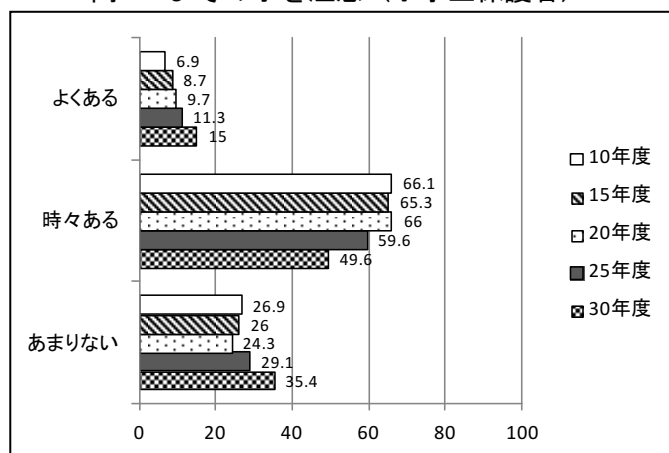
<平成10年度から30年度を通しての変化>

小学生、中学生の保護者ともに、「会えばあいさつする」は増加している。

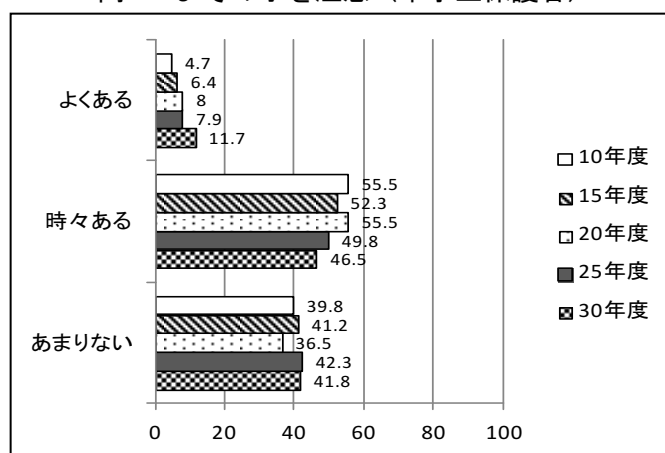
問5 あなたは、よそのお子さんを注意したりしかったりすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない

問5 よその子を注意（小学生保護者）



問5 よその子を注意（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

小学生、中学生の保護者ともに「よくある」が増加し、「時々ある」が減少した。小学生保護者は「あまりない」が増加し、中学生保護者はほぼ変化なしである。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

小学生、中学生の保護者ともに、「時々ある」が減少しており、「よくある」が増加している。

②地域への愛着

問2 あなたは、今住んでいる地域が好きですか。

1. 好き 2. どちらともいえない 3. 好きではない

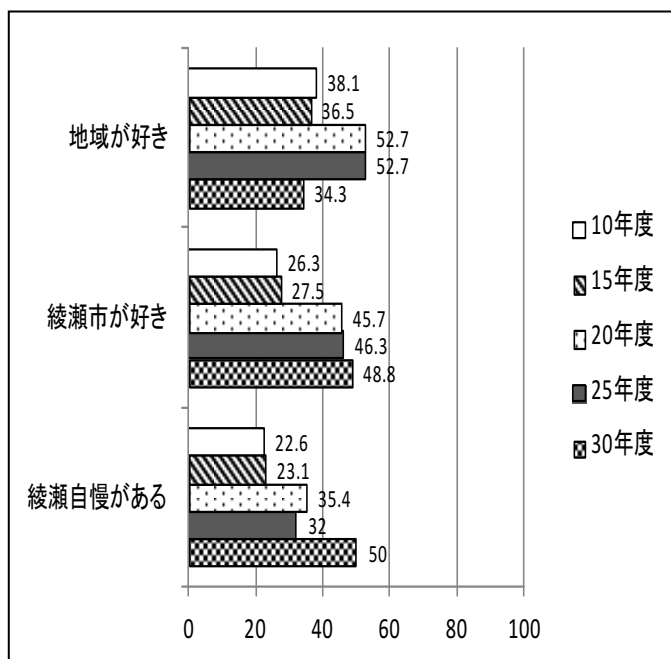
問3 あなたは、綾瀬市が好きですか。

1. 好き 2. どちらともいえない 3. 好きではない

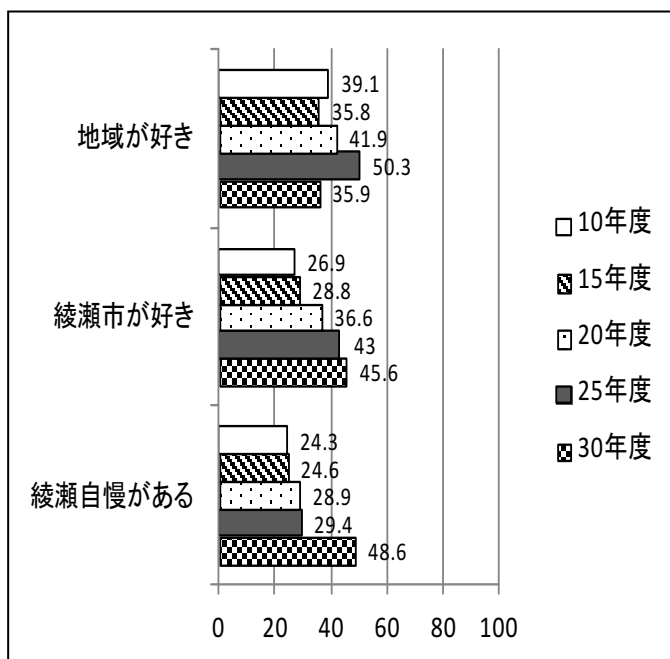
問4 あなたは、綾瀬について自慢できることがありますか。

1. ある 2. ない 3. わからない

問2～4 地域への愛着（小学生保護者）



問2～4 地域への愛着（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

小学生、中学生の保護者ともに、今住んでいる地域が好きという回答は3割半ばと減少した。綾瀬が好きという回答は増加している。また、綾瀬について自慢できることがあるという回答は、小・中ともに5割近くまで増加した。

子どもにも同様に尋ねた、「地域が好き」「綾瀬市が好き」の回答を比較するためにまとめると、下の表のようになる。

	小学生	中学生	小学生の保護者	中学生の保護者
地域が好き	74.1%	61.8%	34.3%	35.9%
綾瀬市が好き	71.8%	47.3%	48.8%	45.6%

「地域が好き」に関しては、保護者よりも、児童・生徒の方が高い割合で好きと回答していることがわかる。「綾瀬市が好き」に関しては、小学生は高い割合で好きと回答しているが、それと比べると、中学生と小・中保護者は割合が低くなっている。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

小学生、中学生の保護者ともに、「地域が好き」は前回の調査まで増加していたのに、今回の調査では減少した。それとは逆に、「綾瀬市が好き」は増加傾向になっている。「綾瀬について自慢できることがある」の割合は、今回の調査で高まった。

③子どもの地域活動への参加状況

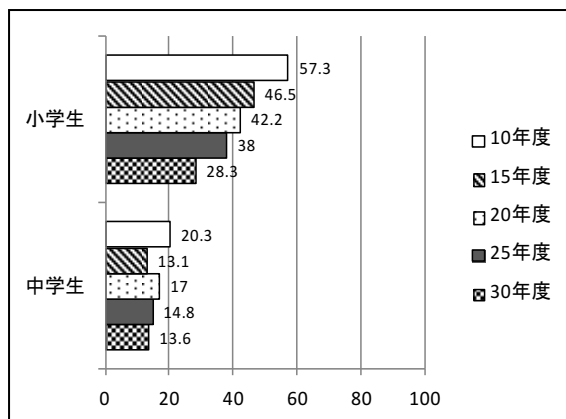
問 3 1 あなたは、お子さんを地域の活動に参加させていますか。

1. させている

2. させていない

※平成10年度の調査の設問は、「あなたは、お子さんを営利を目的としない地域の活動に参加させていますか。」

問 31 地域活動に参加させている



<平成30年度の結果>

小学生、中学生の保護者を比較すると、中学生の保護者は小学生の保護者の約半数である。

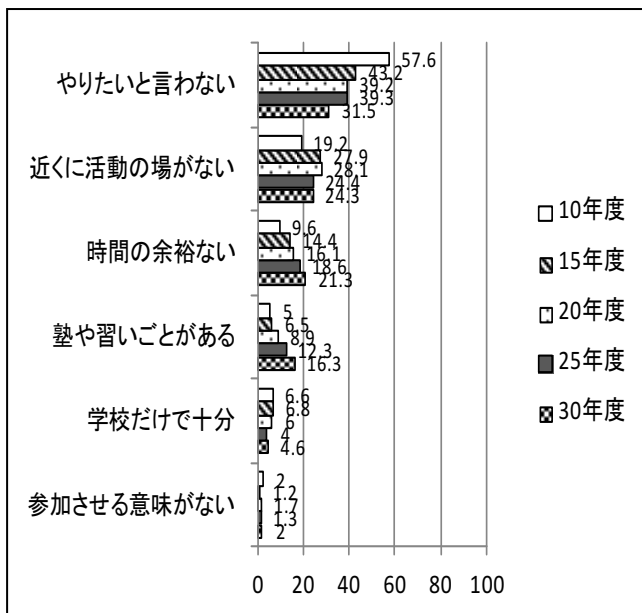
<平成10年度から30年度を通しての変化>

小学生の保護者では、「参加させている」が調査ごとに減少し続け3割を下回った。

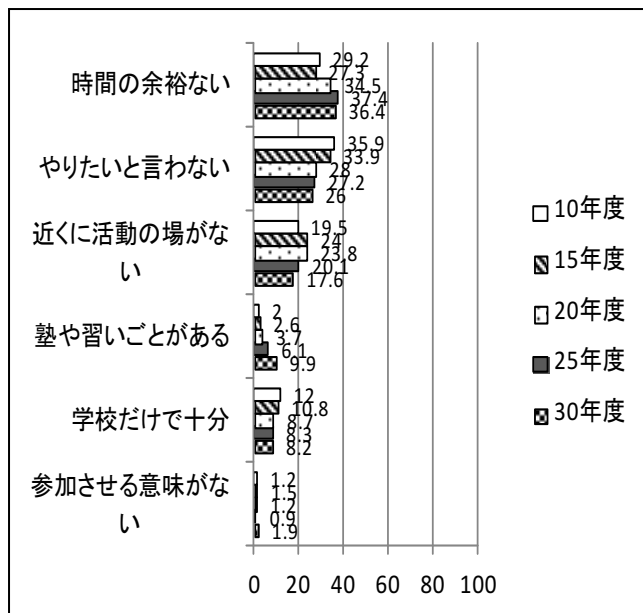
A 参加させていない理由は何ですか。

1. 学校の活動だけで十分だから
2. 塾や習いごとがあるから
3. 時間的な余裕がないから
4. 子どもがやりたいと言わないから
5. 近くに参加させたい活動の場がないから
6. 参加させる意味がないから

問 31 A 参加させていない理由（小学生保護者）



問 31 A 参加させていない理由（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

参加させない理由として、小学生の保護者では、「子どもがやりたいと言わない」「近くに活動の場がない」が多い。中学生の保護者は、「時間的な余裕がない」「やりたいと言わない」が多い。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

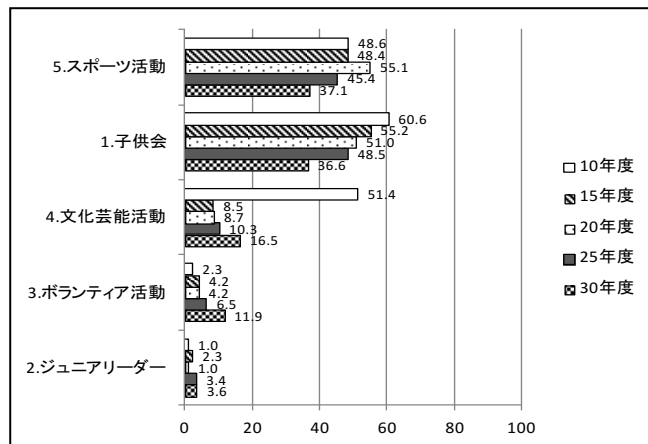
小学生、中学生ともに、「子どもがやりたいと言わないから」が前回の調査より減少している。「時間の余裕がない」「塾や習い事がある」は増加している。(*)

B どんな活動に参加させていますか。(2つまで)

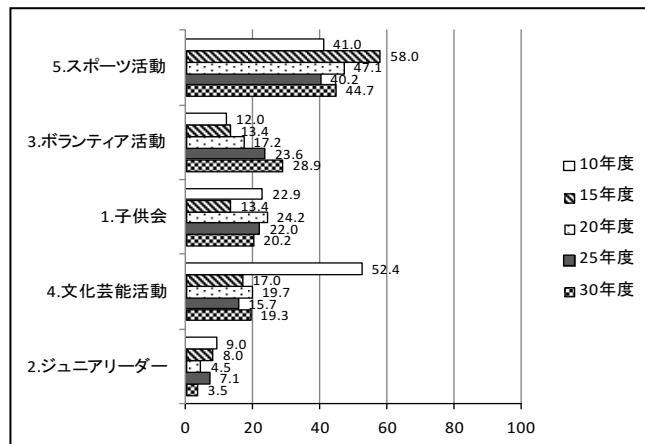
1. 子ども会
2. ジュニアリーダー
3. ボランティア活動
4. 文化芸能活動
5. スポーツ活動

※この設問は、平成15年度より設定された。平成10年度の調査では、「スポーツ活動」をもっと細かく質問していた。

問31B 参加する活動（小学生保護者）



問31B 参加する活動（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

小学生、中学生ともに、「スポーツ活動」が最も多い。小学生の保護者と比べると、中学生の保護者が「スポーツ活動」「ボランティア活動」に参加させている割合が高い。小学生の保護者が「子ども会」に参加させている割合は、中学生の保護者に比べて高い。

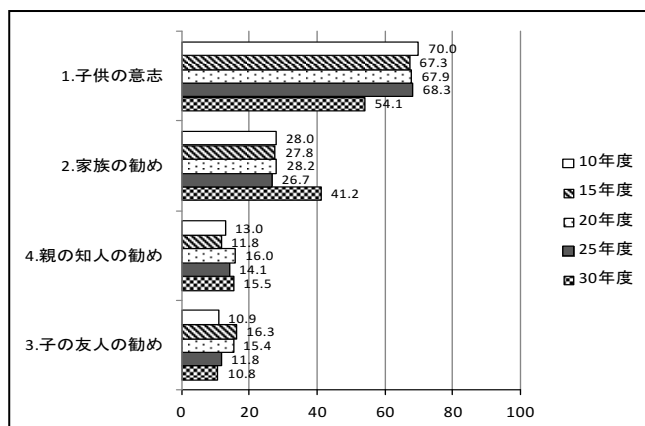
<平成10年度から30年度を通しての変化>

前回の調査まで、小学生、中学生の保護者ともに、「スポーツ活動」への参加は減少していたが、今回、中学生の保護者の方は増加した。中学生の保護者では「ボランティア活動」が年々増加傾向である。(*) 小学生の保護者では「子ども会」が年々減少している。(*)

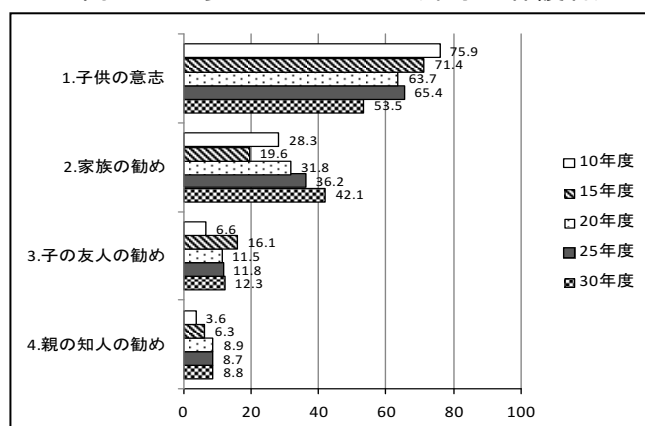
C どんなきっかけで参加させましたか。

1. 子どもの意志
2. 家族のすすめ
3. 子どもの友人のすすめ
4. 親の知人のすすめ

問31C 参加のきっかけ（小学生保護者）



問31C 参加のきっかけ（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

参加させるきっかけは、小学生、中学生の保護者ともに「家族のすすめ」が増加した。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

小学生、中学生の保護者ともに「子どもの意志」が減少してきている。

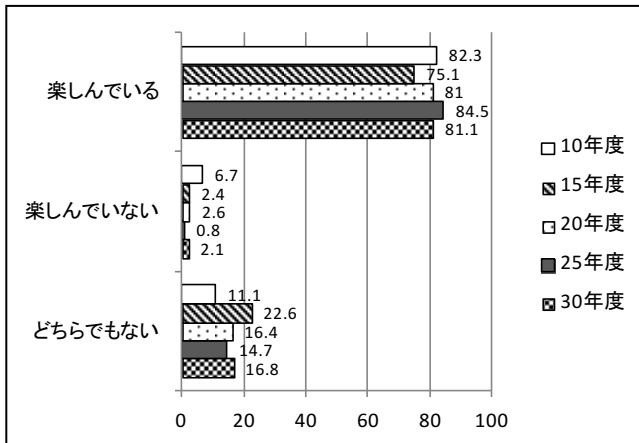
D あなたのお子さんは、現在の活動を楽しんでいますか。

1. 楽しんでいる

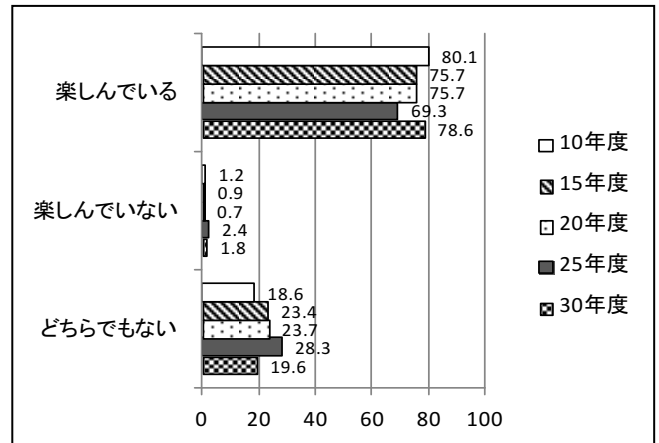
2. 楽しんでいない

3. どちらともいえない

問 31 D 地域活動を楽しんでいるか（小学生保護者）



問 31 D 地域活動を楽しんでいるか（中学生保護者）



<平成30年度の結果>

子どもが地域での活動を楽しんでいるかについて、「楽しんでいる」と認識している割合は、小学生、中学生の保護者ともに約8割である。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

「楽しんでいる」と回答する割合は、小学生の保護者は前回まで増加傾向だったが、今回の調査では減少した。中学生の保護者は前回まで減少傾向だったが、今回は増加した。

